

第5学年1組 国語科学習指導案

日時 10月28日(金) 第5校時

在籍児童数 35名

指導者 教諭 田中 崇亮

1 単元名・教材名

グラフや表を使って、6年生や先生たちの心を動かす意見文を書こう「グラフや表を用いて書こう」

2 児童の実態と本単元の意図

本学級の児童は4年生で実施した「もしものときにそなえよう」を扱った単元で、事実やそれを基に考えたことを書く学習をしてきている。また、7月に実施した「みんなが過ごしやすい町へ」を扱った単元では、目的に応じて必要な資料を引用したり、写真や図表を用いたりして調べたことを報告する文章を書く学習もしている。これらの学習を通して、集めた資料を基に、事実と感想、自分の考えを区別しながら文章を書くことができる児童が増えた。しかし、自分の考えを伝える文章を書くには、文章構成や考えが伝わりやすくなる表現を意識しながら、読み手に分かりやすくなるように工夫する力を高めることが必要である。

本単元では、自分の考えを伝える意見文を書くという言語活動を通して、図表やグラフなどを用いて自分の主張が伝わるように書き表し方を工夫する力の育成をねらいとしている。「固有種が教えてくれたこと」で学習した、図表やグラフを提示して主張を展開する書き方を、自分の意見文に生かしながら書くことが中心となる。

指導に当たっては、文章と図表やグラフを結び付けながら論を進める書き方と自分の考えが読み手により伝わりやすくなる文章構成や表現の効果に着目して工夫する力を重点的に指導していきたい。そこで「6年生や先生たちを納得させる」というめあてを設定し、相手意識を高められるようにする。また、意見文はタブレット端末に打ち込み、効率よく推敲や修正ができるようにすることで、文章を工夫して十分に練り上げることを意識できるようにしたい。同時に、原稿用紙に書く方法も選択できるようにしておき、タブレット端末への打ち込みが苦手な児童も安心して学習に取り組める環境を整えていきたい。

3 単元の目標

- (1) 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
〈知識及び技能〉(2) イ
- (2) 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
〈思考力、判断力、表現力等〉B(1) エ
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。
〈学びに向かう力、人間性等〉

4 本単元における言語活動

事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く。(関連：言語活動例ア)

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 (2) イ	① 「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 (B(1) エ)	① 粘り強く文章と図表などを結び付けながら、学習課題に沿って事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書くとしている。

6 指導と評価の計画（全6時間扱い）

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	○社会全体が「くらしやすい方向に向かっているか」「くらしにくい方向に向かっているか」について意見文を書く見通しをもつ。 ○意見文にまとめる自分の立場とその理由をクラゲチャートにまとめる。	○意見文の題材の設定 ○自分の立場のまとめ方	○事前に時事ニュースに触れさせ、自分の意見をもつ経験を積み重ねておく。 ○多様な視点がもてるように、初めは特に細かなテーマを決めずに「くらしやすくなる」か「くらしにくくなるか」について自分の考えを話し合う。 ○クラゲチャートを用いて自分の立場と理由が明確になるようにする。
2	○自分の立場と理由に合致するグラフや表を集める。 ○集めたグラフや表についてグループで検討し合い、自分の意見で用いるグラフや表を決める。	○情報の収集の仕方 ○情報の取捨選択 ○情報の整理の仕方	○タブレット端末や本、新聞等様々な媒体を用意し、自分に合った方法で情報を集められるようにしておく。 ○テーマと立場が同じあるいは似ている同質グループで表やグラフの検討をする。
3 ・ 4	○意見文の書き方を理解する。 ○意見文の書き方に沿って、ICT機器やワークシートを使って意見文を打ち込んだり書いていく。	○意見文の構成 ○グラフや表の活用の仕方（出典の示し方等も含む） ○説得力のある意見文を書くための工夫の仕方	○「固有種が教えてくれること」で学習したグラフや表を生かす書き方を振り返る。 ○語彙が増えるよう、意見文で使いたい言葉をクラウド上にデータとして集め、オリジナル辞書を作成しておく。 ○タブレット端末への打ち込みでの意見文作成か自筆するかは児童自身が自分に合ったものを選択できるようにしておく。 [知識・技能①] <u>作成した意見文</u> ・文章の中で、読み手に図表やグラフに注目させる語句を正確に使うことができているかを確認する。 [思考・判断・表現①] <u>作成した意見文</u> ・引用したり、読み手に問いかけるような言葉等を使ったりしながら、図表やグラフを用いた文章を書くことができているかを確認する。

5	○文のまとまりごとに担当を分け、グループで推敲し合う。 ○友達の意見を踏まえて、自分の意見文を修正する。	○推敲の仕方 ○推敲の視点	○推敲が円滑にできるように、タブレット端末で作成した場合にはコメント機能で修正箇所を示せるようにする。 [主体的に学習に取り組む態度] <u>推敲をしている時の様子</u> <u>自分の文章を修正している様子</u> <u>修正前と修正後の意見文</u> ・粘り強く文章と図表やグラフを結び付ける言葉の修正に取り組んだり、友達の推敲を受けて自分の文章を振り返ったりしているかを確認する。
6	○意見文を読み合い、コメントを送り合う。	○意見文を読む視点 ・構成 ・グラフや表の活用 ・説得力を高める書き方の工夫	○より多くの意見文を読み、コメントを送れるように、タブレット端末に保存した意見文を読み合う。

※単元後、意見文を6年生・教職員が読めるように掲示し、読んだ人が「くらしやすい方向に向かっているか」「くらしにくい方向に向かっているか」意見をシールで示せるようにしておく。

7 本時の学習指導（本時 5 / 6 時）

（1）目標

- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。〈学びに向かう力、人間性等〉

（2）評価規準

- 粘り強く文章と図表などを結び付けながら、学習課題に沿って事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書こうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1 前時の学習を振り返り、本時の課題を確認する。		○前時までに打ち込んだり書いたりした自分の意見文を読み返し、他者が読んだ際にどう感じるかを知りたいという意欲をもたせる。	5
より説得力ある文章に仕上げるために、意見文を推こうしよう。			
2 前時までに作成した意見文をグループ内で推敲し合う。	○推敲の仕方 ○推敲の視点 ・グラフや図と文章が結びついているか。 ・相手（6年生や先生たち）に主張が伝わりやすくなっているか。 ・誤字・脱字	○タブレット端末で作成した資料についてはコメント機能を用いて推敲を行う。自筆の意見文については、ワークシートに書いた文章に直接修正点を書き込ませる。 ○グラフや表と文を結びつける部分を重点として推敲するように伝える。	18
〈期待される児童の反応〉 ・どのグラフかわかるように「上の」グラフを・・・と最初に付けた方がいいよ。 ・グラフからわかることだから、語尾を「～ということが分かります。」にしたほうが分かりやすいよ。 ・ここは事実ではなく、思っていることだから、「思います。」がいいんじゃない。 評価規準 【主体的に学習に取り組む態度】 <u>推敲をしている時の様子</u> <u>自分の文章を修正している様子</u> <u>修正前と修正後の意見文</u> ・粘り強く文章と図表やグラフを結び付ける言葉の修正に取り組んだり、友達の推敲を受けて自分の文章を振り返ったりしている児童をBとする。 〈「努力を要する」状況（C）の手立て〉 ・単元を通して作成したオリジナル辞書を見返させたり、修正が必要な部分を示したりする。			
3 友達のコメントを踏まえて、自分の意見文を修正する。		○友達のコメントをもとに自分の文を修正していく。元の文章と比較し、自分が書いた文の方が考えが伝わりやすいと判断すれば、その箇所を修正する必要はないことを伝える。	13

4 本時のまとめをする。		○友達の文を推敲したり、自分の文を推敲してもらったりすることを通して説得力のある文章にはどんな書き方が必要かを児童自身が具体的に書き入れられるようにする。	3
説得力のある意見文にするためには、 _____ する必要がある。			
5 学習の振り返りをする。		○本時の学習にどう取り組めたかを振り返りの視点として示す。	6
〈期待される児童の振り返り〉 ・友達の文が6年生や先生たちに伝わりやすくなるように、推敲しました。特にグラフにある言葉と文章の中にある言葉が同じになっているかに気を付けて推敲しました。 ・友達が推敲してくれた文と自分が最初に考えた言葉はどちらの方が説得力があるようになるかをよく考えました。			